

発見から、未来へ

日本

と

私



情熱家グループ

目次

★ 前書き	1
★ 情熱家のレポート	2
☆「日本との出会い」	2-6
→ コパン・アレクサンドラのレポート	
☆「人間関係の大切さ」	7-11
→ ギュイヨ・エムリーヌのレポート	
☆「日本の文化のお蔭で、人生の目的を見つけた」 ..	12-17
→ ラベ・エメリックのレポート	
☆「文化の発見」	18-22
→ グラスト・クレール マリー	
☆「私の日本の発見」	23-27
→ ラドズ・モリーヌ	
★ 後書き	28

★ 前書き

『発見から未来へ』は情熱家グループが作成した冊子だ。「発見」も「未来」も「情熱」も私達のキーワードだ。このキーワードはなぜ私達の過去から今日までの道を現せると言えるのかとよく考えると、答えは作成者のみんなが決定的な発見をして、この発見は自分の未来にいい影響を及ぼす。あの時から私達の人生を変わって、情熱家になった。この発見は日本だ。

きっかけと過程は人によって違う。それなのに、私の気持ちと考えはよく似ている。確かに、共通点がたくさんある。例えば、日本の番組が好きで、あの番組のおかげで文化と言語を学ぶ。でも、あの番組は実際の日本と違うことが分かった。番組の中だけではなくて、毎日の生活の中でも紋切り型を意識した。

更に、私達の目的は自分の情熱と関係があることは大切だから、これからも、私達は情熱の道に歩いていく。これは、自分の目的への道に歩いているという意味もある。

エムリック、アレクサンドラ、エムリーヌ、クレル-マリーとモリーンという各人は情熱を持って自分の経験について書いた。各人のレポートを読むと必ず私達の伝えたい事を分かって、私達の気持ちを感じられると思う。

どうやって私達は日本について学んだのか？ どうやってステレオタイプを乗り越えるのか？ 私達の大切なものは何か？ 目的を達成するため何をするつもりなのか？ 私達はレポートの内容を通じてこの質問をよく考えた後、答えた。

★ 情熱家のレポート

「日本との出会い」

「出会い」と「漫画」と「ドラマ」と「旅行」

『私と日本』

コパン・アレクサンドラ
Copin Alexandra

☆ テーマの動機文

6歳のときに、『ドラゴンボール』や『聖闘士星矢』などをよく見ていた。

早くやめたけれども、10歳のときに『さくらカードキャプター』はベルギーで放送された。このアニメの音楽が好きだった。「いい音楽だねえ」とか「あーきれいな言語だ」と思ったから、日本の音楽をなんとなく聞きたかった。でもあの時、インターネットを使える人は少なかったので、あまり日本のことを見付けなかった。

数年後に私の友達は「漫画ということを知っている？」と聞いた。この友達のおかげで、漫画のことを読み始めて、日本に改めて興味があった。この漫画の中で、私にとって新しい文化と出会った。確かに、自分の文化に比べて食べ物や態度などは本当に異なった。私は好奇心の強い人なので、インターネットで日本の文化の情報を探した。いろいろなことを見付けたが、アニメと漫画のことは日本の文化のより多かった。悔しかったが、あきらめなかった。

日本の音楽を聞き始めたとき、歌詞を分かるようになりたかったので、はじめに独学で日本語を習得した。もちろん、一人で日本語を学ぶのはとても難しいことだから、私に関しては大失敗だった。よく考えた。「日本語が上手になるために、どうしたらいいですか」と思った。やはり、日本人の友達がなく、日本語に興味がある友達もなかったのも、一人で解決を考えた。「あ！そうだ！日本の字幕放送を見れば、私の日本語をよりよくする！」と思った。そのように嵐のテレビ番組を見付けた。この番組のおかげで、日本語の発音に慣れた。それだけではなく、嵐のおかげでドラマを見付けた。私はドラマを見るのが大好きだ。はじめは字幕があるドラマだけを見ることができたが、今字幕がないドラマだけを見ている。もちろん、時々語彙とか文法を分かってないが、意味が分かるから、大丈夫だ。やっぱり、ドラマを見るのが大事だと思う。ドラマを見ると、日本語を聞いているので、少し勉強している。なんとなく、日本のドラマを見ている時、日本の文化のことも学ぶので、それはいいと思っている。いろいろなドラマのテーマがあるけど、時々まじめなドラマが放送された。たとえば、『スマイル』というドラマは日本に人種差別を説明している。もちろん、これは一般性ではないが、日本の悪いところも見せてもいいだと思う。

私は日本に3回行った。やっぱり3回目に行ったとき、違う意見を持った。初めに日本に行ったとき、やっぱり夢を見たいだった。あの時に、日本語をまだ勉強しなかったから、日本人と話すのは難しいことだった。私にとって、全部は新しい物だったから、東京の美しさに驚嘆した。あの時、「花より男子」というドラマを見たから、えびすという場所に行った。

料理について、日本語を話しなかったのも、レストランで食事をするのはあまりしなかった。それは残念だと思う。そう思ったので、2回目と3回目行ったとき、日本料理を楽しんだ。鎌倉の料理店で一番うまかったと思う。

2回目の時、他の場所に行った。例えば、鎌倉とかおだibaなどを行った。あの時、日本人と少し話すことをやってみたが、本当に難しかったね。日本人の友達のおかげで、新しい東京を見出して、私の意見が変わった。初めの旅行の時に、有名な場所だけに行ったが、2回目のときに日本人が知る場所も見出した。例えば、居酒屋という場所は面白かった。

3回目行った時、日本人の友達の家に泊まったので、もう一同私の見方が変わった。どうしてだね。日本人の家族と一緒に住むことに比べて、日本に来るのは観光客としてはとても違い経験だね。日本人の母の料理はとてもおいしいと思う。日本人の家の母のおかげで、日本語をよく話した。「間違ってもいいだね!」と思った、なんとなくこの母という時、自信があったので、日本語で話すことは簡単になった。ドラマと番組を見たから、日本の料理に興味を持つはじめた。実際、ドラマの人々が食べるときに、私は「あーこの料理はおいしそうだ!」と思いました。これを見たから、この料理を食べたかった。この料理はフランスのとは違うと思う。日本に3回目行ったとき、大阪と京都と名古屋に行ったから、日本でも違う味があることに気づいた。なぜなら、私は日本と出会った、アニメの音楽だけではなくて、ドラマを見たのはからだ。けれども、日本の旅行の経験のおかげで、第二出会いをした。

☆ 対話報告

*対話相手を選んだ理由

私の相手はともきさんである。ともきさんはフランスにいる留学生だ。外国の文化と言語を話すために、留学生ともきさんが面白い意見があると思う。

*対話

テーマ1「出会いは何だ?」

私: 私にとって、日本との出会いは初めにアニメと漫画の出会いに関係ある。漫画のなかで、日本の文化を発見した。ともきさんにとって、フランスとの出会いは何? 初めに

ともきさん: フランスとの出会いか。この留学に来たのも別にフランスだからって訳ではないんだよね。中学生のときにメキシコにいた体験っていうのは自分にとって特別なもので、それを将来に生かしたいと思ったんだよ。将来に生かすためには大学生のうちにもう一回海外経験をする必要があるって思ったわけ。そんなことを考えてるときに、この留学プログラムの情報が入ってきて。2年の留学っていうのは珍しいし、フランス語はスペイン語と近いからいけると思って、興味を持ち始めたんだよ。だからとりあえずフランス語を始めることにしたわけさ。

私: そうか。でもフランスに来る前に、フランスの文化に興味を持った? 例えばインターネットで情報を探したとか□□□

ともきさん: うーん。あんまなかったかな、そりゃフランスは有名だから、パンがおいしいとか美術館が多いとかそういう一般常識程度のことは知ってたけどね。

そういえばリールに行くことが決まったときはさすがにリールについて少しは調べたけどね、ウィキペディアを見るぐらいだけど。

私: あーじゃフランスに興味がないでしょ?

ともきさん: フランスに興味あるかね。別にないわけじゃないよ。来たからには別の文化を見て、その文化のいいところを自分の身につけることも海外に来ないとできないことのひとつだと思うね。ただ特別フランスに興味があるわけではない。

私: そうか。じゃ 漫画とかドラマなど通して日本の文化を知る人のことについて、ともきさんの意見は何だ?

ともきさん: それはとてもいいことだと思うよ。漫画とかアニメとかは特に現在日本の文化を象徴するものだし。それを日本人じゃない外人が読んだり見たりして日本の文化を知ることは興味深いよ。ただ漫画、ド

ラマとかは誇張したりするからもしかしたら外国人はそれをそのままの日本だと思ってるのは残念だね。例えばメキシコにいたときにメキシコ人に「日本にはまだ侍がいるんでしょ？」って聞かれたときはびっくりしたよね
ただメキシコ人には日本って言ったらそういうイメージがあったんだと思う。

私:ともきさんにとって、ドラマを見て漫画を読む人と日本に行ったことない人は日本との出会いがないか？

ともきさん:そんなことはないよ。ただ漫画とかドラマとかは誇張してることもあるから
もしかしたら日本に行ったことがない外国人もしかしたら日本に行ったことがない人にとっては本当の日本を知るのは大変かもしれない。

□私の意見:

この対話のあとで、もう一度「出会いと言う事はなに？」と考えた。やはり、ともきさんの意見はとても面白かった、勉強になった。今、私の本当の日本との出会いは日本に行ったときだ。前に、漫画とドラマのなかで日本を発見したが、これは他の見方だと思う。

テーマ2「言語と文化」

私:私にとって、文化を知るために言語は道具だ。意味は文化が分かるために言語が必要だ。ともきさんは何思う？

ともきさん:確かに文化をよく知るためには言語は重要かもしれない。ただ言語がなくても文化をすることは可能だと思う。

私:うん、でもたぶん言語を分からない人たちが間違っって？例えば、日本人はすしだけを食べてとか。

ともきさん:それは言語のせいだと思うの？

私:うーんだって言語が分からないとき、情報は他の言語を探して、この情報はたぶん正確ではないかな。

ともきさん:そうとはいきれないと思うな。おれだって他の国の情報を調べるときは日本語で調べるし、たださっきの例について話せば。話は戻るけど、それこそ漫画とかドラマとかで日本人はすしだけを食べてるって印象づけされてるからだと思う。

私:ともきさんにとって言語と文化は分離ができない？

ともきさん:言語はひとつの文化だと思ってるよ。

私:あーそうか。私にとって、言語と文化も大切だと思う。文化が分かるために、言語を学ぶのは大事だが、言語がよく分かるために、文化も大事だ。日本語の中では丁寧は大事だね。これが分かるのは難しいと思う。だから、文化を知れば、この丁寧が少し分かるかもしれない。

ともきさん:たしかに日本人の丁寧さは興味深いと思う。それを知るために言語を勉強するということはいいいことかもしれない。実際にそうかは知らないけど、日本人の丁寧さの由縁の一つは言語かもしれない。ただどっちにしろ、日本語を勉強したら、日本人のそういうところをもっとよく知れるかもしれない。

私: えーと、チャンさんの質問だが、どうしてもともきさんは言語と文化は一つのものとして考えているのか。

ともきさん:一般的に文化って何？アレクサンドラにとっての文化は例えば何のこと？

私: うーん例えばね...文化はならわしとか、態度とか...習慣もだ。分かる？

ともきさん: でも、例えば漫画とかアニメとかも文化でしょ？

私: うーん...アニメとか漫画などのおかげで、日本の文化を発見すると思う

ともきさん: じゃあアレックスの中でアニメとか漫画とかは文化に入らないの？

私: うーん...やっぱり...入る。

ともきさん: だからおれが言いたいのは文化っていうのは結構あいまいなもので、何が文化かっていうのは人それぞれだと思うんだよ。そこでおれにとっての文化っていうのはその国や住んでる人の特徴の根源になっ　て　る　も　の　だ　っ　た　り　す　る　わ　け　。すると言語っていうのは結局その国や住んでる人の一つの特徴であり、また、言語から特徴が生まれてくると思う。例えばはあんま思いつかないけど、言語っていうのは文化を理解するための1つの道具っていうのもわかるけど、ただ俺の中では違う言語をしゃべる人はそれぞれ個性的な特徴を持ってると思う。

□私の意見:

ともきさんにとって言語は文化の部分だ。でも文化が分かるために、言語を知ってることは必要ではないと言った。

私にとって、文化と言語関係があると思う。特に日本語と日本の文化と思う。日本人の態度とフランス人の態度とか日本人の態度とアメリカ人の態度など、これは違うと思う。私について、この態度をマスターするために、日本に住むことはいいと思うが日本に住むと勉強するなどために、日本語をマスターするのは大事なことだ。

☆ 結論

小さい時に、アニメと漫画など通して日本を発見した。これのおかげで、日本に興味を持った。アニメの歌を聞いたときに「あ、この言語はきれいだね!」と思ったなので、この言語の情報を探した。少しずつ日本語を勉強になりたかった。後で、日本に行ったので、私の観点を変えた。毎行行ったとき、私の見方変えた。やはり、日本人に会って、日本語をもっと勉強して、日本の文化を見つけたのは日本のことをもっと知ることになった。

早稲田のプロジェクトをはじめたときに、日本と初めの出会いは漫画を読んではじめたときだと思ったが、「国との出会いは本当になんだろうか」と思ってはじめた。対話のテーマ1のタイトルについて、動機を書いたとき、「出会い」という言葉はやはり何かと発見することだと思ったが、対話のテーマ考えたとき、「本当にそういうことだろうか?」と思った。たぶん私の「出会い」の意味は他の人との間違うねと思った。漫画とかドラマなどのなかで、日本を発見したが、それは本当に出会いかと考え始めた。ともきさんと話したときに、本当に気になった。今まで、よく考えたから、意見を変えた。私にとって、発見することは初めに新しい文化を見つけたときだ。日本との出会いまで、順序立てて発見したと思う。

日本の文化といえば、漫画ということを手すぐに思い出す。対話の中で、ともきさんと一緒に話したとき、このテーマについてどうかな。やはり、漫画のおかげで日本の文化を知らせるが、「この文化は実際に日本の文化だろうか」と思った。確かに日本の文化を知らせるが間違いだと思う。漫画のなかで、常套句だけを大げさに言うと思う。だから、日本がよく分からない人が「日本人が寿司だけを食べるでしょ!」などとよく言っていると思う。

だから、文化を伝えるためいい道具かなあ。私にとっていい道具だが、これにとどめる、残念だと思う。日本の漫画は本当の日本ではないと思う。

言語と文化の問題について、ともきさんの意見はとても面白かった。メンターのおかげで、よく考えたように、ここに答えてみることにする。例えば、私にとって日本の文化が分かるために、日本語が分かるのは必要だと思う。日本語が分かれば、情報をたくさん入手することができる。さらに、常套句を乗り越えると思う。でもともきさんの意見も分かる。確かに、インターネットのおかげで色々な筋があるが確かな筋からの情報かどうか。例えばウィキペディアに関して、このサイトはいい情報と良くない情報がある。だから、このサイトに情報を探せば、情報を選別するのは必要だと思う。選別することができれば、たぶん言語をマスターするのは必要ではないが、私にとって、言語は文化を伝える道具だから、特に日本語といえば、言語の中で文化があると思う。例えば丁寧さのことは日本の特徴だと思う。この特徴が分かるために、言語と文化をマスターするのは必要だと思う。

やはり、皆と意見を交換するのはとても面白かった経験だと思う。

☆ 終わりに

このプロジェクトの初めに、字の数を見たと、本当に怖かったです。「えーできるか？ 難しそうだ」と思った。「何のテーマがいい？ 私の日本語はだめから、何をすればいいか。」とよく思ったが、プロジェクトの皆さんは本当に優しくかったから、私は自信を持ってはじめた。前から「間違ってもいい！」という態度を持ったが、早稲田の皆さんと私の友達に私の作文を見せるときに、私が恥ずかしいになった、このプロジェクトに参加する皆さんに比べて、私の日本語はあまり良くないと思ったから。けれども、メンターのおかげで、レベルは大事なことではないと分かった。

毎週、ストレスがあった、「あーもう時間がない！」と思ったが、この経験はとても面白かった、勉強になった。このプロジェクトのおかげで、日本語で作文を書くのは少しずつ簡単にできるようになった。やはり間違いがたくさんあるが、文法をもう一同よく勉強する。さらに、問題を答えることができた。例えば、どのように日本との出会いしたかとか何で日本語を勉強して始めたかなどの問題だった。やはり、普通にこの問題を考えてないと思う。だから、自省するのはとても難しくて、面白いことだとおもう。

皆さんが面白い意見があるから、メールを交換するのはとても勉強になった経験だった。この経験が終わる後で、日本と私についてもっと考えているのはほしいだから、もう一同頑張る。

プロジェクトの皆さん、心から本当にありがとうございます。

「人間関係の大切さ」

「交流する」、「人と繋がる」、「日本と接触」（「日本との出会い」）、「友情」、「情熱」

『私と日本』

ギュイヨ・エムリーヌ

Guyot Emeline

☆ テーマの動機文

日本と今までの関係はまだ完成していない過程の一部だ。この過程の最初は高校に友達と硫黄島の戦いについてクリント・イーストウッドの映画の発表というきっかけでした。つぎに私は好奇心旺盛な人なので、日本に興味を持って、文化などを捜しはじめた。それからビジュアル系のことを知ってきた。始めて聴いた時に日本語は不思議で特別な言語だと思ったが、次第に気に入って歌詞を分かりたくなった。その結果日本語を勉強する気になった。まず、一人でインターネットで仮名や文法を習った。そして、高校を卒業のあと、日本語学科で勉強することに決めた。

当時に一緒に発表した友達はドラマを勧めた。あのときから、私はドラマをたくさん見た。そのおかげで、日本の慣習や文化と日本語を学べることができた。今の好きな歌手や俳優も関心する史実も発見した。もちろん私はドラマの世界が実際の世界と違うことがわかります。特に、日本人と出会ったり、日本に旅行したりした後、ある違いに気づいた。でも実際の世界はドラマと違うけど、時々ドラマの紋切り型が出ている。日本人と過ごした時間のおかげで日本についての知識は広げて、深くなった。

日本人と過ごした時間のおかげだけではなく、大学の仲間と一緒にいる時間のおかげもたくさん学べた。もし高校の友達と大学の友達に出会えなければ、たぶん日本の興味は少しずつ消したかもしれない。豊かな環境という授業の内容と雰囲気がよかったから、本当の情熱がうまれた。その後この情熱は日本人と日本の接触で強めた。目標がなかった私が次第に日本語の勉強にも意味を与えた。まず人間関係は私の人生を改めて、そして私を成熟へ導いたと思う。

さらに私は、たいていの場合、外国文化、言語を勉強する人はその国の人と関係を発展した方がいいと思う。私は日本人と交流する体験はとても面白くて、大事なものだからだ。

とにかく、出会えた人々のおかげで、私の現在の人生は素晴らしいと思う。日本についてみんなに教えられるものが多かったからだ。それに私は出来たことがたくさんある。例えば、日本にいた時、日本語しか話せない友達を作って遊ぶことができたや富士山に登ったなどということができた。ドラマの有名な場所も行った。だから、私はとても幸運な人だと言える。もちろん、少し目にあったこともを過ごしたが、どこでもそういう悪いことが起こる。これは人間の実際の世界だからだ。

要するに人と繋がるにつれて日本とも繋がっている。毎日私は人との関係を守ると私と日本の関係も守っている。これは私の大切な将来の目標に達するために日本語の勉強を続けて頑張るという意味もある。

☆ 対話報告

対話の相手の名前はルメール・ティフェンヌだ。私と同じ日本学科の3年生だ。

まず私の動機文とコメントの内容を見せた。その後、色々なテーマについて話すことが出来た。

日本のテレビ（ドラマとアニメと番組）

ティフェンヌ：エーとね、困っているけど、ドラマについて話せないと思う。現在、私はドラマを見ないから。実は、ドラマを見たことがある。でも、好きではなかった。

私：ええ、そうなんだ？ どんなドラマを見たの？ どうして好きではなかったの？

ティフェンヌ：好きではないところは甘ったるいシナリオとか役をオーバーに演じることとか
私：私もそういうところを見たけど、アジア風と思わない？ 私はアジア人が恋愛に対して恥ずかしいから、演奏が甘くなると思う。でも私はドラマの中でどんなことでも分析しすぎるかもしれないね。
ティフェンヌ：アジア人は恋愛に対して恥ずかしいね。これは正当な理由になれるかもしれない。でも、気に入らなくて仕方ない。
私：私は最近大河ドラマを見た。歴史の本に比べれば本当に面白かったよ。歴史に基づいて少し小説風にしたから。それに甘いロマンスとかなないね。
ティフェンヌ：面白そう。でも、悪い体験したから、アジアのドラマはもう見たくない。
私：わかった。私にとって日本の文化について学ぶために、ドラマは私の一番好きな道具だ。だから、ティフェンヌの道具は？
ティフェンヌ：私は大学に入学する前に、マンガをたくさん読んだ。アニメも何本も見ただことがある。今はあの時ほどマンガを読まない、アニメを見ないけど、今も日本の文化について学べるのがたくさんある。韓国の文化なら、私の好きなバンドが出ている番組を見ている。だから、私は外国の文化を発見するために人々が好きなものを基にして探し始めて、その後範囲を広げると思う。
私：ティフェンヌの考えに賛成だ。彼氏は私に番組を見るという勧めたことを覚えている。人々の話し方や行動はドラマより自然、自由になるからかと思う。
ティフェンヌ：番組によって違うね。リアリティ番組なら、シナリオがあるから、自由は限界がある。でも、ある番組は楽しくて、珍しいものを紹介している。こんな番組には世界のどこでもから来た人々が専門を見せる。
私：そうなんだ。あの、ティフェンヌにとって番組はドラマより実際の世界に忠実だ。

→ この話の内容を考えると、私は、ドラマはフィクションだということが頭に浮かんでいる。アニメより実際の世界に忠実だけど、番組ほど実際の世界に忠実ではない。テレビは実際の世界の小さな部分しか見せない。毎日の生活のことがあまり見せないの、日本にいた時値段や人の姿に対して驚いた。とにかく、テレビは全体的なビジョンをあげると思う。それは外国人にとって、確固な基本だと思う。

日本の体験：自分の目で見るのは一番いい。

ティフェンヌ：はい、そう思うよ。でも、自分の目で見ることほど文化を観察する方法はない。
私：今回も私はティフェンヌと賛成だけど、日本へ行くことは本当に高いだね。だから、インターネットを使って、番組やドラマを見ることができてよかった。日本が好きになったから、日本へ行きたかった。日本へ行ったことについて私はとても嬉しい。そういえば、ティフェンヌも日本へ行ったことがあるね。期待どおりだったの？
ティフェンヌ：もちろん遠い国へ行くことは高い。エーとね、私は日本を理想化しなかったから、私の期待を裏切らなかったと言える。でも、2週間の旅行だったから、日本人の生活をちゃんと観察することができなかった。
私：短い時間だったね。私は1ヶ月旅行した。色んなものに驚いたが、少しずつ慣れたと思う。時々、「ああ、やっぱり日本だ！」と思ったけど...
ティフェンヌ：そうなんだ？ まあ、私は食べ物にうるさい人だけど、おいしい食べ物を味わった。驚いて、嬉しかった。そして、パンやりんごの値段の高さを気づいたと「有り得ない」と思った。
私：果物の値段と交通費は本当に高い。フランス製品も高すぎるよ。例えば、カマンベールは1000円以上だよ。人間関係についてティフェンヌは何を思ったのか？
ティフェンヌ：日本人はもてなしが涼しいと言われる。でも、私はそう思わない。温かくて、親切人と出会えた。迷った時も知らない人に助けてもらった。店員は別だったけど。話し方が早すぎて、何度も「ゆっくり繰り返してください」と聞いても、早く話した。

→ テレビは文化などを教える。でも、毎日の生活について何も教えないと気づいた。私もティフェンヌも同じことを感じた。だから、日本とつなぐ方法はどうでもいいだ。みんなは始めて日本にいるとき私とティフェンヌと同じことを体験するかもしれないからだ。

人間関係について、人の性格による。

私：じゃあ、ティフェンヌにとって人間関係はあまりに大事なことはない？ティフェンヌはマンガと番組で日本につながっているだろう。

ティフェンヌ：そうかもしれないね。でも、インターネットのおかげで、友達ができた。この友達は私に色々なことを教えたから、人間関係は文化を習うときに役に立つ。私は内気な人だから...

私：人の性格によって、他の文化につなぐ方法は違うね。私は人々と話すことが大好きだ。ドラマを見るも大好き。だから、ドラマと人間関係を基にして日本についてよく学べた。

ティフェンヌ：はい、エムリーヌと賛成だ。

私：でも、やっぱり人間関係は特別だと思う。もし外国から来た友達が作ったら、友達の文化とか言葉を習いたくなるんじゃないか？ 具体的結びがなかったら、一人きりで前に進むことは難しくなるかもしれないと思う。

ティフェンヌ：まあ、外国から来た人と繋がると、自分の国と違う慣習を理解するチャンスだ。自然に理解したくなるね。でも、最初から気に入る必要があると思う。

→ 好きな物と趣味は人によって違う。文化を理解する道も人によって違うのではないかと思った。

人間関係について、環境の影響。

私：最後の質問だ。私は人生を改めた人と出会った。それに、目標を見つけた。今の人生が好きだから私にとってあの人の存在は大切だ。毎日出会えてよかったと思う。ティフェンヌの人生の中には私と同じ、大切な出会いをしたのか？

ティフェンヌ：大切な存在はお母さんだ。お母さんはアニメが大好きだから、こんな環境で私も好きになった。アニメの曲が好きだったから、日本の音楽を探しはじめて、ビジュアル系を発見した。次に日本語を勉強するに決めた。他の大切な存在は私の彼氏だ。

私：そうなんだ。素敵だね。その後、ティフェンヌさんとお母さんの関係は変わったの？

ティフェンヌ：ええ？ 別に。お母さんは古いアニメだけが好き。私は今音楽のほうが好きだから、あまりお母さんと関係ない。

→ 人と交流することは文化を理解するために一つの大事な道だと思う。人間は他人と環境の影響を受ける。あの影響は人々の人生を導く。

私の動機文の最後の段落について

私：ティフェンヌさんはこの文章を読むと何を考えるのか？

ティフェンヌ：私はエムリーヌさんと同じだと感じている。私は日本語を諦めることができない。私の目的を達成するために熱心にがんばる。誰でもこのように考えていると思う。

私：人間関係の部分は？

ティフェンヌ：ネイティブと関係を作るのは本当に大事なことだよ。ネイティブのおかげで前に進むことができる。目的へ向かえるという意味だ。

私：はい、私もそう思う。

ティフェンヌ：それに、外国の文化と言語を勉強している人はネイティブと交流するべきだと思う。

→ ティフェンヌさんの意見は私と同じだ。たぶん私のように人間関係をあまり大切にしないかもしれないと気がする。だから、ティフェンヌさんの言いたいことは「目的を達成するため人間関係が言語の勉強に役立つ」だ。

日本人の彼氏

私：それは、私は動機文に書いたんだね。早稲田プロジェクトに参加している佐藤さんは「具体的にどのような人とのどのような関係を持つと情熱の始まりになると思いますか。」と聞いたんだけど... 私は日本人の友達も彼氏もいる。友達なら面白くて楽しいことを体験できると思う。彼氏とか彼女とか自分にもっと近くて、パートナーの文化に熱中したほうがいい。

ティフェンヌ：私も日本人の彼氏がいるから、エムリーヌの気持ち分かってる。そう言えば、最近放送された番組にある人は「外国の言語を習えば、もっともよい方法はその国からの人と付き合う」って言った。

私：そうなんだ？面白い。まあ、彼氏の気持ちと考え方が分かりたいから、彼氏の文化をもっと深く知った方がいいね。それに、彼氏の家族に会うとき、気をつけることがたくさんある。
ティフェンヌ：私達は外国人から、私達に甘いんだけどね。

→ 今、考えていることは番組に出た人の言ったことと同じだ。関係は近ければ近いほど、パートナーの文化を深く分かることができると思うから。私もティフェンヌも日本人と付き合う経験してるから、大賛成だ。でも、もちろん友達なら、とても良い経験になるはずだ。

☆ 結論

活動の始まり、私はドラマについて書いたけど、メンバーとコメントのやり取りのおかげで、私は日本人と交流することのほうが大切だと気づいた。だから、私のテーマは「人間関係の大切さ」になった。私にとって人々と話したり、考えを述べたりするのは反省を促して、自分の人生を成熟に導くと思う。この活動の中でもこんなことをよくしたと言える。

「人間関係の大切さ」というテーマの動機文について色々な質問をもらった。特に、「関係を守るために何しますか？」や「どのような関係を築いているんですか？」という質問があった。私の答えの内容は：関係を作って、守るために私はできるだけ友達と日本人と直接に話して交流している。これは大学でできる。そして、日本にいる友達と彼氏も連絡している。そのため、インターネットは本当に便利な道具だ。さらに、もちろん日本語の勉強を続けることも日本と関係を守る方法なんだ。

次に、対話の時、ドラマと人間関係についてをよく話した。選んだ相手は性格が私と全然違うから、対話は思っていたより本当に面白くなった。でも、人間関係の話は短いすぎるのかと思っている。

とにかく、対話の最大の結論は「人によって文化を理解する道は違うのではないか。でも、人と交流することは一つの大事な道だと思う。それに、人間は他人と環境の影響を受ける。この影響は人々の人生を導く。だから、ネイティブとできるだけ近い関係を持つのは最も良いことだと思う。」

確かに、番組を見て一人で勉強するのは限界があると思う。西洋人と比べれば、日本人は自分の文化の特徴が分かるから、簡単に番組を作れる。でも、自分の生活は普通みたいだから、毎日の生活についてルポルタージュを作らない。だから、私達は日本人の考えなどが分かりたいければ、日本人と普通に話したり、生活したりすることは必要だと思う。観察ばかりしていたら、何か足りない。積極的に日本人と繋がって、日本の社会に参加することは重要な体験だと思う。

一方、私にとって人間と交流するのは必要だ。人々と話したり、楽しんだりすることが大好きだからだ。人の話を聞くとその人の性格や考え方を理解できると思う。それに友情や愛情などを感じられる。これは人と繋がっているという意味だ。人と繋がりながら、その人の文化を繋ぐことができると思う。言語を勉強する人にとってこんな関係はとても大切なんだ。

こんな関係がなければ、私達は外国の文化と境界線で別れると思う。私達はその文化の外で見るだけだからだ。

とにかく、珍しい機械を得ると人間関係は人の人生に大影響がある。そして、人間関係は大切な宝物だと断言できる。人間の間に知識と気持ちは伝えられるからだ。

☆ 終わりに

私にとって、このプロジェクトに参加することは挑戦のようだった。確かに、私は字の数が多すぎて、無理そうだった。でも私は日本語が上達できるはずだと思うと動機付けを持った。結局 6500 字ぐらいを書いた。去年こんなに長く書くことは絶対に駄目だった。もちろん文法の間違ひがあるはずだが、大きな一歩だ

と思う。

始まりは難しかったが、プロジェクトに参加しているメンターは私に考えを述べたおかげで、私ができることはよくなった。私は早稲田の皆様とやり取りして嬉しかった。そして私を応援したことについて私は有難いんだ。

次に、対話のおかげで私は相手というティフェンヌさんのことがもっと分かったと思う。彼女との話は面白くて、私の考えをほんの少し変わった。人は色々な興味を持って、色々なことを体験する。それぞれの人生は異色だ。

とにかく、私の結論に書いたとおり、人間関係は本当に素晴らしいことだ。他人に教えるものがたくさんあるからだ。心にも思いにも良い経験になる。このプロジェクトも教えることがたくさんあって、大事にする思いになる。

最後にこのプロジェクトに参加すると私は自分自身について考えた。こんなことは自分の言語でも難しいけど、テーマは「私と日本」だったから、日本語で考えを述べるのはフランス語より当然のではないだろうかと思う。さらに、他人は私の様子を見て、私の考えを導くことを本当に豊かにする。

このプロジェクトに参加させてくれてありがとうございました。

「日本の文化のお蔭で、人生の目的を見つけた」

「やりたいこと」、「迷う」、「日本の文化」、「人生の問題」

『私と日本』

ラベ・エメリック

Labbe Aymeric

☆ テーマの動機文

人生には迷ってる時があって、どんな道を選ぶのは正しいかという問題に直面している時もあります。それを望んでなくても、仕方がありません。理由は人々の人生のある時にその人生を変われる決をする時が確実に来るからです。それは人生その物です。私にとって、そういう一時期は19歳の時でした。どうして毎日起きなければならないか、どうやって人生を楽しめるのかとよく考えていました。それではあの時に日本語と日本の文化を少しずつ気になって、人生が変わり始めました。

あの時に私は情報工学の二年生と三年生で、とても下手で話らないと思いましたから、学習を嫌いになりました。さらに、まだお母さんの家で進んで自主が段々欲しかったから、毎日は苦しかったです。従って、授業を受ける代わりに散歩したり、ビデオゲームをばかりプレイしました。授業を受けませんでしたから、とても閑です。アメリカのドラマと日本の漫画を見ることになりました。もちろん、子供の時からカードキャプターさくらや遊☆戯☆王等という漫画を見ましたが、日本と関係があることを全く気付いていませんでした。日本についてステレオタイプばかり知りましたと思います。でも、漫画とドラマを見ると日本語を気になって、日本の文化は面白いと考えて、少しずつ、毎日は面白くなりました。日本語に愈々惚れてしまいましたから、漫画とドラマを日本語だけで見たかったです。そうすると、語彙と文法を覚えてしまって、会話をちょっとだけ理解できるようになりました。それをできましたから、嬉しくなって、一人で日本語を勉強するに決めました。

私がそんなに熱心になって、笑顔を又々できるようになりましたから、母は私に日本語の教科書をプレゼントしてくれました。その本を一生懸命勉強するとできるだけ日本語の基本を覚えめました。もちろん、漫画と本だけで日本語を使って、理解するのはありえませんから、インターネットでペンパルを探しました。ネットであやという九州地方に住んでいた女性と出会ってメール交換をし始めました。興味が似ていたから、毎日一つや二つのメールを送って、だんだん仲良くなりました。お互いはメールが不十分だと思いましたから、インターネット電話サービスとウェブカムを使うようになりました。そのお蔭で少しずつ日本語の理解と発音を上達しました。それから、日本の文化にも興味になりましたから、私の一番大事な決定をしなければならませんでした。それはその嫌いな情報工学の学生の生活を止めて、お金を貯金して、一人で日本に行くことにしました。

あやのところに行く予定でしたが、色々ありましたから、予定を変えて、ホストファミリーを探しました。便利なサイトのお蔭で、いいファミリーを見つけて、2008年の夏に津市、そのファミリーの家に行きました。もちろん一人で遠い国に行くことをするから、私は恐かったけど、自由の気持ちを感じ始めました。そこで一ヶ月の間にいっぱい話したり、日本の文化を体験したり、そして色々なところを訪ねました。例えば天照大神が住んでいる伊勢神宮、伊賀上野城、そして藤堂高虎という豊臣秀吉の大将の一人の津

城を見に行きました。私の世界が急に広がって、やっと一人で生きることができると思いました。因みにその藤堂高虎は津市のホストファミリーの始祖です。私は戦国時代が興味になりますから、それを知って、本当に肝に銘じました。私の旅を終る前に一人で京都に行って、色々な神社や寺を訪ねました。例えば金閣寺、清水寺、竜安寺、三十三間堂等を見に行きましたが、一番気になったのは青蓮院でした。とても静かな所でしたから、やっと落ち着けました。その後、フランスに帰って、日本語を勉強すること、そして将来に日本語を教えることを決めました。日本に行った時から私は人間が変化を恐れているから、自分を限ってると思います。例えば、自分のやりたいことを探すより両親の仕事を継ぐこと、引越すこと、子供を育てること等は人間にとって恐いのです。でも、その文化を体験すると、それで私の世界が広がり始めたから、自分の限界を壊したかったです。色々な可能性が待っていると思いました。だから、私の将来を自分で作りたいです。確かに、旅行の時に何かをすればいいかを全然考えませんでした。楽しめたかったばかりで、新しい文化を発見したかっただけです。ですが、帰った時に、頭の中で一つだけのことは絶対でした。それは将来に日本とある関係の仕事をしたかったです。最初は日本でフランス語と英語を教えたかったです、リール第3で英語の勉強をし始めた後、彼女と出会いました。彼女も英語の勉強をしましたが、本当に下手で、将来に何かすればいい知らなかったから、二人で日本の勉強することを決めました。もちろん私は英語の勉強をした時に一人で日本語を習いました。では、どうして最初に日本語を勉強しなかったか、それはヨーロッパで日本語を教えることより日本でフランス語と英語を教えるの方が簡単だと思いました。でも、今は後悔が本当にありませんから、正しい道を選んだ気がして、幸せです。

私は日本の文化のお蔭で救われたと言っても、もちろんそれだけではありません。然も無いと人間全員は日本の文化に救われます。では、私はどうやって救われたと考えてみました。私にとって人生の目的を見つけたことは日本の文化だけのお蔭ではありませんが、その文化を興味になったことは私の人生の目的を見つけるトリガーだと思います。大事なことと出会う時に（例えば愛人、仕事等の機会、等）一步を確かにししましたが、進めるかどうか、それは自分自身の力、考え、行動が決まると思います。トリガーを見つけると、動機も見つけて、目的が現れるということです。もう一つの大事なポイントは答えを一人で見つけなければならぬと思います。それは進めるために、力が必要からです。それで、その力の源はその問題の答えと答える方法だと思います。自分で自分の問題を答えると、人生の道を選ぶことができ、進むこともできると思います。でも、一人で問題を答えるという意味は一人で生きなければならぬと違います。進めるためにサポートは必要だと思います。確かに、私にとっては自分の人生に選択をするべき時に一人で決めるのは必要だと思います。もし、他者（例えば、親や先生）が自分の代わりに答えたら、後で後悔するかもしれません。ですが、手伝うのはいいと思いますね。

日本、そしてその文化が私の人生に目的をくれました理由はそのお蔭で興味と将来にやりたいことを見つけたからです。そしてこのテーマを選んだ理由は迷ってる時の痛みをよく知っていますから、同じ状況を直面する人に希望をあげようと思っていましたからです。その二つの理由がありますから、将来に日本語を教える会社を作りたくなりました。ですが、色々な教え方が必要だと思いますから、個人的な指導をしたいです。例えば、若い人々（12-18歳）は話らなくならないために面白い教え方が必要だと思います。だから、絵、漫画、音楽等を使うことにしようと思います。でも、会社員の場合は全く違いますから、フランスと日本の文化の違いポイントと日本人の会社員と話すための大事な語彙をリストすることは必要だと思います。さらに、自分の世界を広げたい人の場合に大事なポイントは限界を壊すと思いますから、私は日本語を教えてあげても、必要なのは文化だと思います。全く違う文化を発見すると、私の教え方は授業より趣味みたいだと思いますから、部活のような授業をしたいです。このような授業をすると、私にとって、メリットが二つあります。生徒が話まらなくならないためです。確かに、フランスの生徒は厳しくて、真面目な教え方が嫌いだと思いますから、そうしないと、いけないと思います。そして、二つ目の理由は空気が軽くなると、覚えやすくなると思います。そうすれば、私の熱心を伝えられるかもしれません。

☆ 対話報告

1) シンディとの対話

私が選んだ相手は私の彼女、名前はシンディです。彼女も日本語の勉強をしていますから、テーマについてよく話せると思っていました。

(1) ステレオタイプ

シンディ: テーマを読んだ後で二つのポイントを興味になりました。一番目はステレオタイプのことでした。エメリックが日本語を一人で勉強する前に日本についてのステレオタイプばかり知ってたと言いましたが、エメリックにとって、どうやって、ステレオタイプに対しての時に、外国の文化に興味になれますか。

エメリック: 私もメディアは外国文化をステレオタイプにすると思います。それは外国文化を理解できることに困るからです。

シンディ: 私もそう思います。とくに、若者に困ります。外国文化を気になるための若者の問題はステレオタイプだと思います。国人の民族主義を上るためにメディアはステレオタイプを行渡って、そうすると、若者は外国文化に気にならないかもしれません。だから、ステレオタイプということを無視しなければならないと思います。なぜなら、それはステレオタイプは大抵現実と違うからです。例えば、フランスの場合に、現在フランスパンを持って、ベレーを被ってるフランス人は少ないですけど、それはフランスについての一番有名なステレオタイプですよ。

エメリック: はい、でも、全く違うステレオタイプもあると思います。日本の場合に、日本人にとって、漫画は誇りだと思いますが、若い外国人は漫画ばかりを話せるから、面倒になりそうです。日本人は自分の国についてのステレオタイプのことを煩わしいだと思っているでしょう。

シンディ: はいそうですね。そのステレオタイプのタイプは国文化の一部ですが、外人はそのステレオタイプばかり話せますから、煩わしくなります。それはベルギーと同じかもしれません。ベルギーの場合に、やっぱりフライドポテトでしょうね。しかし、どうして外国の文化はそのステレオタイプばかりで一定しなければなりません。私は外国文化は若者を成長するために本当にいいことだと思います。だから、その若者の世界を限ってるのは残念だと思います。だから、その若者の世界を限ってるのは残念だと思います。

エメリック: それはそうですね、外国文化を楽しむためにいいところもあると思います。その文化の面白いところを見せるからです。例えば、日本の場合には漫画やさむらいのステレオタイプがありますね。それは本物の日本と違いますが、日本の文化の一部ですから、その文化をちょっとだけ近づけるとします。近づいてから、その文化の全てを楽しむこともできます。

シンディ: ステレオタイプを利用しますね。若者に対して、いいと思いますが、その文化に気になる始めから、大きい動機が必要かもしれません。ないと、その文化をちょっとだけ理解できる前に恬淡になると思います。私の場合にも、日本語の勉強をはじめる引き金はアニメを見ることでしたから、もしアニメが嫌いだったら、日本の文化に気にならなかったと思います。それは残念ですよ。それはフランスにはアニメの上に日本の文化を見つける方法がほとんどありませんからです。

エメリック: 確かにね。

(2) 外国の旅

シンディ: 二番目のポイントは外国の旅についてなんですが、どうやって、外国の旅を利用させますか。私は外国の旅を利用させるためにやっぱり外に出なければならないと思います。

エメリック: やっぱり、私もそう思います。日本に行った時に毎日散歩したかったです。真夏で、ホストファミリーの人は働かなければならなかったから、それをできませんでした。京都に行った時にも、伊勢神宮に行った時にも、とても嬉しかったで、色々なことを発見して、いい勉強になりました。

シンディ: 国を訪ねながら、話す機会を作ればいいです。例えば、店で店員と外国語で相談を聞いて、とても勉強になると思います。さらに、その店員は旅人が外国語を少しできるのを必ず気になりますから、もっと話したがっていると思います。旅人にとって、そのような理解や話のエクササイズはいい経験になりますね。それに、もっといい経験を作るようにホテルよりホストファミリーのほうがいいと思います。確かに、ホテルで誰も話せないみたいです。ホテル員は仕事で、他の客は部屋や外にいますから、不便だと思います。ですが、ホストファミリーでは家族と住んでいますから、話す機会が多いですね。さらに、子供がいれば、優しくなります。色々なことを発見できて、興味を伝えられますね。外国文化を発見するために一番いい方法だと思います。

エメリック: 私の場合に、そうでした。一人で京都に行った時に、大原という山の中にある所に行きました。そこにいった人々はとても優しくて、あの人と話すのは本当にいい思い出です。土産物屋のおばあさんと 10 分ぐらい話して、そのおばあさんは私がアメリカの歌手とっていましたから、面白かったです。それに、本当に暑かったですから、専門料理の店のおじさんは掻き氷をくれました。日本人ってとても優しい人だと思いました。その人達のお蔭で、少しずつ日本語を上達したと思います。でも、一番いい方法はやっぱりホストファミリーですね。日本にいた時にファミリーの子供と遊んで、話したから、文化と言語をドンドン理解できる感じがしました。最初には理解できませんから、話せないから、元気が出ないかもしれませんが、少しずつきつとかわかれますね。

シンディ: とても面白い旅行でした。やっぱり、旅行をする時に一番大事なのは国人と話しますね。それに、ホストファミリーの方法は便利ですが、1 月にいくらぐらいですか。

エメリック: 私の場合に 45,000 円ぐらいでしたけど、もっと安いホストファミリーもあるし、高いホストファミリーもありますね。安くて、いいファミリーを見つけるのは簡単ではありませんが、いますね。

シンディ: なるほど。

III 佐藤さんとのやりとり

佐藤さんとやりとりをした時にステレオタイプについてをよく話しました。それに、外国への旅行をすると、大切なポイントについても話をしました。

(1) ステレオタイプ

いい店と悪い店、両方あると賛成になりました。それにステレオタイプのタイプが二つを決めて、区別しました。その二つのタイプは国や文化について、そして人についてのステレオタイプでした。

国や文化についてのステレオタイプの場合

ステレオタイプに多くを頼ったりすると本質が見えなくなってしまうこともあります。だから、自分で見て感じたことがあっても、それがステレオタイプに合わない、逆に合うようなことを探したり、ステレオタイプが実際見られたら、ホッとしたりといった話は、邪魔なものとして捉えられるのです。

ですが、知らないことを発見したい時にステレオタイプはよくて、便利な発見する方法です。たとえば、新しい情報を得た時、何も知らないゼロの状態から少しずつ知っていくことは大変ですが、あらかじめイメージや情報があれば、すぐにその内容を知ることができます。対話にあった外国文化の話の場合も、ステレオタイプが「理解の入り口」になったりもするのです。

人についてのステレオタイプの場合

国や文化のステレオタイプの場合に、いい店があると賛成になりましたが、人のステレオタイプの場合にはないと思いました。

早稲田プロジェクトのような異文化イベントをする時にテーマについて話して、やりとりをしながら、「フランス人」とか「日本人」とかを気になりません。大事なのは意見で、通信できるかどうかのことです。

(2) 旅行の大切なポイント

人々によって、旅行の目的は全く違いますから、その外国旅の大切なポイントも違うかもしれません。

佐藤さんは外国を旅行する時、一番大切なポイントとして「人と話すこと」を挙げていましたが、それはどうしてですかと聞きました。自分の経験に即して、考えてみました。

外国旅といえば、新しい文化を発見するとすぐに考えると思います。その国の言語は文化の一部ですから、すこしでも習うのは私にとって大事で、必要だと思います。それは、外国にいる時に話せないのは不便だから、外国語を習って、少しづつ話してから、外国旅行を楽しめて、友達をできます。そうすると、いい経験になります。

佐藤さんは賛成しましたが、旅先で新しい経験をする際、その場所の言葉ができなくても旅行を楽しめることは可能だと思っていましたから、その国の言語を知ることにはそんなに大切なのですかと聞きました。

その国の言語を話せなくても、旅行を楽しめますが、言語の限界があると思います。言葉を知らなくても、友達になりそうで、最初は面白いけど、後で話らなくなれないかと思っています。

対話レポートの結論—対話レポートについての意見

対話のお陰で二つの大切なポイントについて話しました。では、そのポイントと私のテーマはどの関係がありますか。まず、レジュメをしました。

ステレオタイプについて二つの意見があります。

- 若者に対して外国文化を理解できるため、ステレオタイプは邪魔物になります。

- 外国文化のステレオタイプを使って、その文化に近づけます。

そして、ステレオタイプのタイプが二つを決めて、区別しました。いい点と悪い点を考えました。

- 国や文化についてのタイプ：いい点があって、悪い点もあります。

- 人についてのタイプ：いいところがなくて、必要ありません。

外国の旅について大事なポイントが二つあります。

- 外に出たほうがいいです。散歩して、色々な場所を訪ねることは大事です。

- たくさんの人と話せばいいです。難しくても、話すのは一番大事です。

ですが、人々や性格によって、大切なポイントは違うかもしれません。国の言葉を話せなくても、喜ぶ可能性もあります。

私にとって、外国文化に興味になると、ステレオタイプが必ずあります。フランス人として、日本は遠い国ですから、最初に、知らないはずですから、ステレオタイプのお陰でその文化を発見できると思いますが、それを頼りすぎると、問題になります。それで、人生の道を見つけるためにも、問題になれます。なぜなら、それは文化とステレオタイプは違うところもあるかもしれませんから、がっかりになれるからです。私の場合に、気を付きましたから、ペンパルとよく話しましたから、日本の文化の姿を見えることができました。

もちろん、旅行をすると、何かが本当かそうかを確かめることができますから、それは一番いい方法だと思います。私のような、人々と話して、たくさんの場所を訪ねて、いい経験になります。それに、文化を楽しめますから、もっと知りたくなると思います。私にとって、外国旅は人生の道を見つけるために最高の方法です。

☆ 結論

人生というのは難しい選択をするべきで迷っているときがある期間だと思います。楽しくて、幸せで、喜ぶときがありますが、その前、正しい道を選ぶのは必要です。正しい道というのは現実を逃げるための趣味や仕事や恋愛等と関係があることです。人々によって、正しい道は全く違うかもしれませんが、その道を見つける方法も全く違うかもしれませんが、それを見つけるのは難しくても、必要です。私の場合に、落ち込んだ時に趣味を見つけて、その趣味のお蔭で将来のやりたいことも見つけました。その趣味は日本の文化で、今も大切にしています。

早稲田プロジェクトを始める前に、その文化との出会いだけは正しい道を見つけたきっかけだと思いましたけど、ちょっと違うことになりました。メンター達と話したお蔭で、もっと考えました。今、私の人生を変えたトリガーは一つのことではありませんが、多きな期間だと思います。その期間の始めは漫画に興味になった時で、日本への旅行の後、フランスに帰った時にはその終だと思っています。その期間に色々な経験をして、私の人生の問題を答えられました。

「どうやって正しい道を選べるか」、「その道は正しいか、どうやって確かめるか」、「別人が私の人生の問題を答えられるか」、たくさんの質問を聞きました。その質問は重要さが本当にあると思いましたから、考えて、答えてみました。どうやって正しい道を選べるのは人々によって違うことですから、答えるのは難しいですが、落ち込む時に喜べることを気付くのは簡単だと思います。その喜びが問題の答えの始まりの可能性が高いと思います。それで、私にとって、その道の正しさの確かめる方法は簡単です。自分の心は単純に知ってると思います。簡単すぎそうですけど、変な言い方かもしれませんが、心は人生の問題の答えを中に持ってると思います。それは「別人が私の人生の問題を答えられるか」の質問の一つの答えです。二つ目は進むために進める力が必要だと思います。それで、その力は問題の答えを見つけるから生まれると思います。それでも、恋人、友達、家族等からのサポートは大切で、必要だと思います。つまり、その過程でサポートがあっても、最後の決断は自分です。そして、サポートを受けつつも、最終的に一人で答えを出すということです。

今、私は人生の目的を見つけて、将来の準備をしています。それに、日本の文化をもっとしりたいから、そして日本語を上達するために今夏にもう一つの旅行をする予定です。

☆ 終わりに

早稲田プロジェクトに参加した理由は日本語を上達したかったです。それをできるかと確かめたからです。さらに、「私と日本」と関係があるべきテーマを決められなければならないと聞いた後、アイデアがすぐに生まれました。

プロジェクトを始めた時にちょっと迷いましたが、テーマを書いてみました。私のテーマは大体体験ばかりでしたから、書くのは簡単でした。ですが、やりとりを始めると、情報や説明が足りないと気付きました。メンター達がたくさんの質問をして、もっと考えたくまりました。そうすれば、私の作文は詳しくなって、自分の経験について、反省できました。

その後、対話を始めて、相手を決めるのは簡単でした。私の彼女も日本語を勉強していますから、二人で私のテーマについて、考えて、話をしました。彼女は作文を読んでから、ステレオタイプと外国旅、その二つのポイントを気になって、意見を出しました。

プロジェクトを始める前にそんなに難しい話を日本語でできないわけにはいかないと思いました。そのプロジェクトのお蔭で、日本語で書くのは少し簡単になって、漢字の読み方も前よりできそうです。その上、メンター達と絆ができた感じがしますから、とてもいい経験だと思います。早稲田の皆さん、本当に、心からどうもありがとうございます。

「日本と私：文化の発見」

「感慨深い発見」、「文化と歴史の関係」、「日本史、私の情熱」、「日本人と交流したい」

『私と日本』

グラスト クレール・マリー

Grasteau Claire-Marie

☆ テーマの動機文

「日本と私」を考えると、日本文化は私の一番興味だから、すぐに「文化」のことばが現れました。したい仕事は歴史と関係があるが、「文化」のことばを選んだ理由は日本の全部に興味があって、「歴史」のことばは制限しすぎると思いました。日本文化と歴史を発見した時、面白いと思うし、一生涯日本文化と歴史を発見したいし、いい感じでした。でも日本文化が好きな理由を説明するのは難しくて、たぶん遙かな文化だと思いますから。コメントをくれたお陰で、「どうして日本文化について興味があるか。」とよく考えたので、他の理由は伝統的と近代的な文化の共存を自覚しました。伝統的な文化について神社や神宮や城に興味があって、建物の中で歴史と文化がいっぱいで、建物はとてもきれいで、途方もなく大きな建物だと思います。近代的な文化について文学や映画やビデオ、ゲームに興味があります。それに外国人として日本文化は時々分かり難くて、違う文化を対照するのはとても面白いと思うので、他の日本文化が好きな理由だと思います。すなわち私にとって日本文化は同時に近くて遠いと思います。

日本文化を発見してから、日本文化は私と未来の関係になって、いつも日本文化を勉強したいです。日本といつも結ぶの表明は、学士の後で日本文化の修士をするつもりです。修士の後で、日本と中国の関係の専門家になりたいです。そのために、中国語と中国文化も勉強しています。私にとって日本史はとても面白くて、特に19世紀始めから日中戦争の時代までに熱中します。日本文化と日本人を分かるために私の道具は日本語と歴史だと思います。だから、日本語と歴史を一生懸命勉強しています。日本語と日本史を習えば習いほど、日本人と近くに感じて、すばらしい気持ちだと思います。日本にまだ行かなかったから、本で勉強するが、本当の文化は日本で日本人とちゃんと習うと思います。日本文化に対して敬意があるから、日本に行く前に日本文化と日本語をちゃんと知らなければならないと思いました。でも本の中で無形な文化だけがあって、私にとって日本文化と日本語と日本人をちゃんと知るために日本に行かなければならないと分かりました。だから日本語をちゃんと話しなくても、日本文化をちゃんと習わなくても、日本に行くのは必要で、大切だと思います。

今年の夏、日本に行くつもりです。史跡を観光したい、日本人の文化を少しずつ分かち合って、楽しみにします。日本人とたくさんものを習いたいです。日本についてステレオタイプがあるので、実際の日本が発見できます。日本についてたくさん情報があるから、対照できることはとても面白いと思います。この旅行について、私にたくさんいい経験を持ってくれます。この旅行の後で、絶対にやる気が増幅するともう分かっています。

つまり、私にとって日本文化というのは歴史と日本語はとても面白くて、必要で、大切だと思うから、このテーマを選びました。文化は日本と私との関係で、日本人と私との絆です。

☆ 対話報告

私の対話相手は私の彼氏で、ケヴィンです。

ケヴィンを選んだ理由は日本語が分からなくても、私と日本の情熱を分けります。

日本語と日本文化の発見

ケヴィン

クレール・マリーの日本発見をもちろん知っても、ちゃんと説明しなければならない。この話はクレール・マリーと日本の関係を表明すると思う。

私

わかった。友達のお陰で、ドラマを発見して、初めて見たドラマは「花ざかりの君たちへ」で、とても熱中した。

たくさんドラマを見て始めて、ドラマのお陰で、ケヴィンに合った。

5年前から、今日まで、いつも一緒にドラマを見て、一番俳優は上手な木村拓哉だ。

私にとってこの頃、日本はもう大切で、ドラマのお陰で、私の彼氏と情熱を見つけた。

ドラマを見ながら、日本語を聞けば聞くほど日本語に興味があって、自分で日本語を勉強して始めた。

日本語を勉強しながら、文化を発見して、すぐに面白いと思うので、本を読んで、ウェブサイトがたくさん情報を習った、日本はいよいよ大切になった。

近代的な文化の展開

ケヴィン

僕とクレール・マリーはビデオ・ゲームに興味があって、過半が好きなビデオ・ゲームは日本製なので、もう少し説明してください。

私

はい、暇な時間にビデオ・ゲームで遊ぶ。例えば「ファイナルファンタジ」と「キングダム ーツ」のビデオ・ゲームがとても好き。私の情熱は全部日本と関係がある！

ケヴィン

ビデオ・ゲームだけじゃない文学も情熱がある。

私

本当だ！日本文学をよく読んで、とても楽しいと思う。

ケヴィン

でも日本文学は他文学に比べて、何が違うか？

私

ちょっと。。。例えば、私の一番好きな作家は村上春樹で、始めて村上春樹の読んだ本は「国境の南、太陽の西」この本を読むと驚いた。

登場人物はヨーロッパの登場人物みたいと思って、特別な日本人じゃない。

でも登場人物の心理学はとても深くと思う。

村上春樹の本の中で、終局はもどかしい。なぜなら急に終局だと思う。

「近くて遠い」の説明

ケヴィン

クレール・マリーの動機文を読んだ時、「近くて遠い」のことがあまり分からないから、もう少し説明してください。

私

山本さんも「近くて遠い」を分からなかったから、ちゃんと説明する。「遠い」の理由は隔たり！フランスと日本間の隔たりは遠いね、文化も違うと思う。

「近い」の理由は、心の中で日本がいっぱいあって、したい仕事や本やビデオ、ゲームなど全部は日本と関係があるから。

日本文化は私の生活を中心する。

ケヴィン

だから、時々日本とフランスの違いは大きすぎるのに、日本はいつも心の中で。

私

はい、日本にいつも興味があって、絶対に本当だよ！

「一番大きな隔たり」

佐藤さんはコメントの中で、「日本の文化とフランスの文化の一番大きな隔たり（違い）って、何だと思いますか。」と聞いてくれます。

ケヴィンも私に同じ質問を聞いてくれたから、一生懸命あの質問に答えます。

ケヴィン

クレール・マリーにとって日本文化はフランス文化に比べて一番大きな違いは何か。

私

日本に一度も行かなかったから、難しい質問だ。

でも私にとって日本文化のイメージを考えると、「尊敬」のことばを考える。

たぶん既成概念だけど、私にとって日本文化はフランス文化に比べて、「尊敬」の意味がもっとあるだ。

階級制度の尊敬や家族の尊敬や文化の尊敬など、たぶん外観だけど、この尊敬の意味が好きだ。

ケヴィン

フランスに尊敬がないか。

私

そんなに言わなかったけど、社会にはルールが時々ないと思う。

フランスと日本の文化の違いについて他の理由は異文化だと思う。フランスはいつも国に影響されたと思って、フランスの近く国はイタリア、スペイン、ドイツ、ベルギー、イギリス、いつも戦争があるから、たくさん影響をくれた。今フランスにたくさん文化を織り交ぜる。

20世紀の時代

ケヴィン

動機文の中で、「私にとって日本史はとても面白くて、特に19世紀始めから日中戦争の時代までに熱中しま

す」と書いて、どうしてこの時代はクレール・マリーにとって大切だか。

私

たぶんなぜなら中国にも興味がある。

19世紀始めに、日本と中国で、たくさん歴史上があった。

例えば中国に革命があって、日本はロシアと戦争がある。

その後で、日中戦争が起こった。

日本の外政はとても面白いと思うから。

日本文化の発見は命を変えた

ケヴィン

クレール・マリーにとって日本文化の発見は命に変えて、知っているけど、ここに全部理由を説明したほうがいい。

私

はい。

日本を発見する前に、趣味があったけど、本当の情熱がないから、今この時を考えると悲しかったと思う。

それから日本を発見して、本当情熱を発見して、とても嬉しい人だと思う。

つまり日本のお陰で、命の目的を見つけられて、彼氏に合って、日本は私と未来の関係だ。

ケヴィン

結局、日本の発見は運命だと思う、クレール・マリーどう思うか。

私

本当だ！法学の学士をした時、全然嬉しくなかったから、私の命は日本に助けられたと思う。

法学と日本は結ばないので、一躍に日本は命に入って、私も運命だと思う。

文化と歴史の関係

ケヴィン

クレール・マリーは文化のことばを選んだ理由は歴史のことばは制限しすぎるから。

でも歴史は文化に比べて何が一番好きか。

私

お好みがない、私にとって歴史と文化の関係は互惠の関係だ。

歴史は文化に影響されて、文化は歴史に影響された。

日本史の本を読むと、いつも「日本人と日本文化を分かるために、日本史を知らなければならない」と書いて、私もそう思う。

でも文化も歴史に影響すると思う。

つまり、歴史と文化は私にとってとても大切だけど、情熱は文化に帰属するから、「歴史」は制限すぎると思う。

☆ 結論

「日本と私」について選んだテーマの動機文は「文化の発見」です。

日本文化は私のライトモチーフだと思うので、日本と私の関係を表わすものとして「文化」を選びました。

日本文化と歴史はとても大切だと分かりました。私のしたい仕事は日本歴史と文化と関係があります。
日本人と文化を分かち合いたい、異文化の経験をしたいです。
私にとって日本は人生です。私の夢は日本文化をいつも発見するから、一生懸命日本語と日本史を勉強しています。
テーマの動機文についてコメントをくれたから、私の動機文を発展できました。
最初に答えられるのはとても難しくて、返信は長い時間がかかってしまいました。
深く考えるのは私にとってとても難しいけど、素晴らしい経験でした。
メンターと話せたお陰でたくさんものが分かりました。
日本文化と日本歴史は人生で一番大切な出会いだと思います。
日本は絶対に人生の意味を持ってくれて、とても忝いです。
日本の大切さが分かっても、人々に説明したのはいい感じでした。夢の配分はきれいなものだと思います。
私にとってこの配分はとても大切で、必要だと思います。
私の夢のために、私は絶対に一生懸命勉強します。
それで選んだ対話の相手は私の彼氏で、ケヴィンと話すことはとても面白くて、大切な相手だと思います。
メンターのコメントとケヴィンのコメントのせいで、頭が痛いでした。大変な質問を答えると、すぐに他の質問を聞いてくれて、とても難しいけど、とても必要な経験だと思って、深く考えることの大切さが分かりました。

☆ 終わりに

プロジェクトに参加した最初の理由は、

最初に早稲田のプロジェクトに参加した理由は私の日本語を良くなりたいでした。
語彙とか文法とか、特別に良くならない、私の日本語はいつも並みでも、早く日本語で考えることを習いました。
間違いがあっても、日本語で考えることの早さはとても大切だと思います。
私にとってこの結果は素晴らしい勝ちです。
私にとってメンターのコメントを書くことはいい経験だったから、とても嬉しいです。
メンターと早稲田のプロジェクトにいつも有難いです。

でも一番大切な習ったものは、

早稲田のプロジェクトは私にたくさんものを持ってくれました。
結局、私の情熱をちゃんと説明しました。
私は「なぜ」の質問を生活であまり考えないから、最初に説明することは難しかったけど、今たくさん質問を考えます。
ちゃんと気持ちを説明するのはちゃんと日本語を話すに比べて、大切だと分かりました。
また、私の夢まで長い道があることを自覚したけど、私のやる気は強いです。

早稲田のプロジェクトのお陰で私の日本の夢について書いた証拠があります。
絶対に日本の情熱を裏切りません。

「私の日本の発見」

「学」、「音楽」、「ドラマ」、「出会い」、「教師」

『私と日本』

ラドズ・モリーヌ
Ladeuze Maurine

☆ テーマの動機文

私は「日本語を勉強している」と言うとき、皆は本当に驚くべきだ。例えば、私の父に「日本語を勉強したい」と言ったとき、彼は「何？日本語？どうして日本語を勉強したい？どうして数学を勉強したくない？」を聞いた。さらに、私の友達は「何を勉強している？」を聞くとき、私の返信は彼らにとっても驚くべきだ。友達は「どうして日本語？英語とか、スペイン語とか、中国語などが好きじゃない？」を聞いた。実は、時々、私も日本語を勉強するの理由を知らない。

理解するために、私は私の初めて日本と関係を見るとき。その初めてのコンタクトはアニメだった。アニメを見たとき、子供だった。毎日、私は『ドラゴンボールZ』を見ていた。もちろん、私はそのアニメは日本のだ知らなかった。

そして、中学生になったとき、私は試験があった。でも、そのこのに、私は怠け者だったから、勉強しなくなかった。そこで、インターネットで映画を探した。私は「太陽の歌」を見つけた。私はその映画を見るとき、私は「その言語はきれいです」と思った。私はウィキペディアに探した。日本の映画だを見つけた。そのあと、私はいっぱい日本についてのサイトを見た。そのサイトは日本の音楽とか、映画とか、全訳とか、ファッションなどについてだった。好奇心だったから、そのサイトを見た。

私の日本の発見のあとで、私は毎日日本のドラマを見るし、日本の音楽を聞いた。私の一番好きな歌手はYUIである。YUIのおかげで、私は日本の世界を見つけた。彼女は、私にとって、本当に特別だ。そして、ドラマと友達のおかげで、私はジャニーズを見つけた。私にとって、山下智久は最高のジャニーズである。だから、私はNEWSを聞くこと始めた。今、私はNEWSのファンになる。

このころ、私はたくさん日本のドラマ、音楽、映画を知っても、私は本当の日本を知らなかった。例えば、私は日本文化とか日本史などを知らなかった。

高校に、私は宿題をしなければならなかった。私の選んだテーマは「日本文化」だった。私は日本語を話しなかったから、私は「二本文化」を書いた。私の先生はもちろん私の間違いを見ていなかった。この宿題のために、私はいっぱいの情報を探した。この宿題には、私は伝統や祭りや音楽や言語やファッションや柔道などについてを書いた。本当に勉強になった。

このころから、私は「日本語を勉強したい」を決めた。

その決定の後で、私は自分でひらがなとカタカナを勉強した。面白いだと思うから、私は大学で日本語を勉強したい。私は音楽のためにこの決定を取らなかったが、音楽は私に日本で興味を与えた。

将来で、私は日本にフランス語の教師になりたい。日本を見つけるの前に、私は文学の教師になりたかった。いつも教師になりたかった。自分の知識に渡すは、私にとって、一番充実した仕事だ。学生と関係があるは有益だと思う。日本に働くはちょっと怖いと思う。だから、私は「日本に働くの前に、フランスに働くみたいはいいアイデアだ」と思うけど、もし、私はフランスに仕事を始めるのあと、私は日本に働くはちょっと難しくないだと聞く。

☆ 対話報告

私の作文のテーマは「日本の発見」ですから、私の対話をするのために私の選んだ相手はフランスにいる留学生です。彼の名前は家浩（カホ）です。香港人です。私の作文に、文化の発見について書きましたから、留学生の意見は私にとって本当に面白いです。私たちはいろいろなテーマについて話しました。

最初のテーマは「新しい文化の発見」でした。

私： フランスに初めて来たのときに、どう感じますか？

家浩： どう感じますか？ フランス人は働きませんと思います。何を話さなければなりませんか？

私： 家浩のすべての感情。

家浩： フランスについて？ フランス人について？

私： フランス、フランス人、フランス文化、など

家浩： フランスに、建物はきれいです。通りで、少ない人があります。香港には、通りでたくさん人があります。時々、私は息ができません。国について□□□

私： 文化とか生き方について話しましょうね。

家浩： 私は色々な国に興味があります。例えば、フランスに、友達はあるテーマについて話すとき、私は「知ってる」と言うとき、彼らは本当に驚くべきです。そのときに、私は恥ずかしいと感じています。

私： そして？

家浩： フランスに中国人です。

私： 人種差別？

家浩： 人種差別ではないと思いますけど、私についての人々の見方はちょっと奇妙です。

私： 一人で、フランスにいるはどうですか？ 難しい？ 簡単？

家浩： 私に、簡単です。それは人の性格に応じて異なります。一部人々は独立が好きです。問題は一人でいることはありません。香港に一人でいるとき、問題がありません。でも、ここに、フランス語を話すできないから、私は失われた感じがします。でも一人でいるのが好きです。例えば、私はロンドンにいる時、私は一人で感じることはありません。言語の問題だと思います。

私： どのようにフランスの文化を発見しましたか？ 初めての関係は何でしたか？

家浩： えっと、どのようにイギリスはフランスのこと発見しましたか？ フランスの文化はイギリス人の人生の一部ですね。香港には、同じです。

私： だから、どうしてフランスに留学しますか？ どうしてイギリスに留学しませんか？

家浩： 映画！ 私にとって、フランス映画本当に面白いです。私はフランス映画についてのことを学びたかったです。

私： なぜフランスでは毎年戻ってきていますか？（家浩は3年間フランスに来ます）

家浩： 私はフランスの生き方に慣れたいです。

私： 新しい文化を発見することに何をもたらしたか？

家浩： その経験のおかげで、私はより独立になりました。今、私は他の生き方を見つけました。私も質問があります。君にとって、アジアは何ですか？ 固定観念がありますか？ 貧しい？ リッチ？ かしこい？ など

私： 私の意見は国によって異なります。アジアに興味がありますから、私は中国が日本より貧しいを知っています。

家浩： これは経済についてですが、文化についての意見は何ですか？

私： 私は日本は中国より伝統的な国だと思います。例えば、日本に、天皇があります。天皇の心像は伝統的な心像です。

家浩： それを分かりますが、イギリスにも、王妃があります。イギリスは君にとって伝統的な国ですか？

私： 私にとって、イギリスは伝統的な国ではありません。イギリスはフランスに近いからです。さらに、日本は他の文化があります。

家浩： モリーヌは日本や香港に旅行しますね。その国はヨーロッパの国のくらべて、違うことは何ですか？

私： 私はヨーロッパに旅行する時、私は自宅のように感じます。文化は異なっていますが、少ないだけです。でも、私は日本にいる時、本当に驚くべきでした。日本は、私が最初に訪れたアジアの国です。香港に行くとき、私も驚くべきでしたが、私は少しだけ驚きました。

*その対話のおかげで、私は新しい国に統合をするのは難しいだと気づきました。文化の違いはたくさんであるし障害になっています。私は日本にいる時、私が適応するのは難しいを理解します。私は、適応が可能だと思いましたが、この対話の後、私は難しいだと気づきました。家浩にとって、いつも外国人の感じています。生き方に慣れるために、長い時間がかかります。私は日本の生き方に慣れることができないのが怖いです。しかし、日本に住んでいるのは私の夢ですから、私は頑張ります。この対話は私の意見を変化しませんが、それは新しい国で統合するのは難しいことだと理解します。

次のテーマは「言語」でした。

私： 「言語」を言うとき、どう思いますか？

家浩： コミュニケーション

私： すべての国で同じ言語、どう思いますか？

家浩： 私は国際的な言語が必要だと思いますけど、文化を発見し、理解するために、国の言語を学ぶは大切なものだと思います。私にとって、言語は何ですかね。私はフランスに英語だけを話せません。もし英語だけを話し、本当のフランスの文化を見つけるできません。

私： そこで、家浩によって、例えば、スペイン語を勉強していますが、スペインに行きません。スペイン語を勉強のは不要ですか？

家浩： え？そう思いません。例えば、私は作家です。スペインで起こって話を書きたいです。スペイン語を話す場合、私はたくさんの情報を探すできますね。翻訳の問題いつもがありますから、外語は必要だと思います。香港の映画を見ると、英語でサブタイトルがあります。その映画に、俳優は Tony Leung について話します、サブタイトルに、Jude Law を書いています。イギリス人は Tony Leung のことを知っていませんからです。それは文化の問題です。文化を見つけるは、言語で始めます。

私： じゃあ、私は香港に旅行したとき、中国語を話しませんでしたから、私は香港の文化を見つけませんでした？

家浩： とくに、文化についてのことを発見するできます。でも、例えば、香港人の話す方を分かりませんね。言語の暗黙的なことを理解するできません。モリーヌは香港に住んでいる場合、生き方に慣れることができますが、本当の文化を理解できません。

*その対話のおかげで、私は悲しいになりました。日本語は私の母国語ではありませんから、私はすべての暗黙の言語を理解することができません。文化は言語が含まれています。言語を教えると、興味深いと思われます。私は学生にフランス語のいくつかの暗黙を伝えることができるほしいです。この対話の後で、私の教師になるの希望は強くなりました。

最後のテーマは「音楽」でした。

私： 家浩にとって、音楽は何ですか？

家浩： 音楽...えっと...

私： 例えば、私の作文に、私は「音楽のおかげで私は日本を発見した」と書きました。音楽のおかげで、文化を発見するのは家浩にとって可能ですか？

家浩： もちろん。

私： どうして？

家浩： 各国が独自の方法で曲を解釈しますね。

私： 家浩は私が表面的な日本を見つけますかと思いますが？

家浩： 私は3年間フランスにいるが、私は表面的にフランスを発見しました。だから、音楽を聴いて、モリーヌは本当の日本を発見することはできませんね。歌を通して、歌手の視点だけを持っています。

*その音楽についての対話の後で、私の意見が変わりませんでした。私はまだ音楽を通じて文化を発見することができると思います。しかし、家浩で述べたように、表面的な情報を持っています。だから、音楽のおかげで、文化に興味があるの後で、その研究を深める必要だと思います。

☆ 結論

私はプレゼンテーションと対話をするときに、色々なことについてを考えた。たくさんのテーマのことにについてたりない考えた。この結論に、そのテーマの説明をするのためす。もちろん、すべてのテーマは返事がないけど、試す。

プレゼンテーションに、私は「音楽とドラマのおかげで、日本文化を発見した」と言った。早稲田のプロジェクトのほかの参加者とメンターは「これは可能ですか」を聞いた。私の返事は肯定的な返事だった。最近、ヨーロッパに、たくさんの若い人は日本文化に興味がある。しかし、その人々は表面的な文化に興味がある。それは重要ではない。その文化のおかげで、私は日本を発見したから、それは大切な文化だと思う。でも、もし本当の国文化を発見したい、たくさんの情報を探すは必要と思う。私も国語を勉強し、国に行かなければならないと思う。それから、大学の最初の年の後で、私は日本に行った。

日本についていっぱいことを知っていたけど、日本に行ったとき、私は驚くべきだった。ドラマの日本は本当の日本ではない。日本は伝統的な国である。生き方や考え方はヨーロッパの国に比べて、本当に違えたから、驚くべきだった。日本に行きの前に、すこし怖かった。失望されることについて怖かった。でも、失望ではなかった、逆に、勉強になった。

さらに、言語の問題は大切な問題と思う。日本にフランス語の教師になりたいから、私に、特別な問題である。言語と文化は関係があると思う。ほかの国に比べて、日本でその関係は大切である。新しい環境に統合するために、言語を話すは必要と思う。対話に、家浩(カホ) はそう思う。コミュニケーションは重要である。バイリンガルは必要な。面白い問題だと思う。バイリンガルせずに、社会に統合することができるけど、文化の参加者になるはちょっと難しいだと思う。文化を理解するは無理だと思う。残念である。生き方や考え方や伝統などを理解することができるけど、文化は深いことだ。文化は社会のメンバーの人格の底だと思う。

私のテーマは「日本の発見」だったが、どうして日本が好きかな。理由はすこし難しいだと思う。表面的な日本の発見の後で、私はたくさんの情報を探した。面白いことを見つけた。たとえば、日本は伝統があるを見つけた。すべての国は伝統はあるが、日本の伝統に興味がある。フランスも伝統があるけど、フランスに生きているから、その伝統はわたしにとって面白くない。その理由で、私は日本に好きになった。

☆ 終わりに

先生は「5000字～8000字」と言ったとき、私は早稲田プロジェクトをしたくなかったけど、機運だと気づいた。だから、私は参加した。今、その決定はいいと思う。プロジェクトの前に、5000字を書くは私にとって無理だったと思った。

今、日本語で書くことは簡単になった。もちろん、たくさんの間違いをするけど、すこし怖くないになった。ほかの人は私の作文とかプレゼンテーションなどを理解することができるを見つけた。だから、書くことは簡単になった。私の日本語の平準は増えなかった。でも、それはプロジェクトの目的ではなかったと思う。

さらに、対話は本当に勉強になった。色々なテーマについて話すは私にとって面白いと思う。友達と反省す

るも面白かった。ほかの人々の意見は興味深い意見だと思う。

残念なことに、私のアパートにインターネットがないから、毎日、フォーラムディスカッションにいるはすこし難しかった。コメントを返事も難しかった。でも、コメントのおかげで、私は反省した。

このプロジェクトのために、私は頑張っていた。本当にいいプロジェクトだと思う。コメントで、早稲田の皆さん、ほかの参加者、心から本当にありがとうございました。

★ 後書き

私たち一人一人の人生には重要な発見をした。それは決定的な発見だとも言える。それから、新しい道が現れて、光明的な未来へ進み始めた。私たち各自の体験は違うけど、日本と出会ってから、人生が変わった。その遠い国の文化は私たちフランス人にとって、眩しくて不思議な世界で、その世界に引きつけられた。

最初に私たち一人一人は別な道を選んだが、心の中に穴があった。どこかにもっと正しい道があると知ってたけど、見つけれなかった。ある時に日本の文化を偶然で出会った。各自の出会いがドラマ、漫画、音楽、映画、色々な方法で可能になった。よく考えるとそれは実際の日本と違って、ステレオタイプと言えるけど、そのステレオタイプは私たちの世界を広げて、少しだけ日本の文化を発見できた。私たちにとって、それが「理解の入り口」だったと思っている。知ってたことは実際の日本と違うのを気付いた後、新しい日本が現れた。がっかりした代わりに本当に見惚れて、もっと頑張りたいかった。もう趣味ではなくて、人生の道にすることを決めた。

もう一つの大事な経験は日本への旅行だった。一人がまだできなかったけど。文化を理解できるために一番いい方法は確かに旅行だ。文化を体験すると、言語を話すと、感動と誇りを感じる。進めるためにその感じは大事で、力になる。その上、人間関係が大切だから、人と出会うって、話して、友達になれてから、二つの文化の限界がなくなって、最高の経験になる。

早稲田プロジェクトは私たちにとって日本旅行の同じような素晴らしい経験だった。一生懸命頑張って、格段な人と出会って、一緒に働いて、難しくても、笑った時や喜びの時を大切にする。一人一人、上達できて、自分の経験について反省できて、そのお蔭で、成長したと思っている。今、私たちは予定と準備をして、未来へ進む。各自の道は他の道とどんどん離れているけど、情熱は同じだから、いつでもそのプロジェクトを覚えて、仲間を忘れないで、進める力が溢れる。



発見から、未来へ ー私と日本ー

編集：情熱家

メンバー：ラベ エムリック、ギュイヨー エムリーヌ、コ
パン アレクサンドラ、ラドゥーズ モリーヌ、グラスト ク
レール・マリー、佐藤 貴仁、チャン ジンハ

発行日：2012年03月11日

